

やさしい

03

vol.94  在宅介護 やさしい手

2018年3月22日発行
やさしい手秋田新聞委員会

手だより

リニューアル!



所内で勉強会



アルヴェで就職フェア



新入社員です!



研修会場 センターS



コンプライアンス研修



スライディングシート体験



東京ビックサイトへ



“介護ロボットで腰痛予防”



春ですね!

勉強会開催

[2018.2.15]

ももさだ店では隔月で勉強会を行っています。2月は脳梗塞についての勉強会を実施しました。



「サービスを行う上でどんなところを注意して観察したら良いのか？」の問いに、戸惑い！ 奮闘!! 真剣!!! な表情をご覧ください。今後も疾病についての観察力向上とスキルアップ、そして質の高いヘルパー事業所を目指していきます。

ノーリフティングケアへの一歩

[2018.3.13]

ノーリフティングケアの社内勉強会を開催しました。ノーリフティングケアとは、オーストラリアで提唱されたもので介護・



看護者の腰痛対策として、押す・引く・持ち上げるなどの動作を人力で行わないという考え方です。

今回はその第一歩として腰への負担を軽減する介護用品について学びました。実際に体験したスタッフからは、「ほとんど力を入れなくてもよかった。」

「利用者さんにとっても、介護者にとっても負担が少ないのがいい。」

などの声のほか、実際にその日体験した介護用品を利用して介護サービスを行いたいご利用者の顔が浮かんでいるような場面もありました。

やさしい手秋田では、在宅におけるノーリフティングケア導入を目指していきます。



ぴっかぴかセンタース

[2018.3.15]

コンプライアンス～高齢者・障害者虐待防止～をテーマに川元地域包括支援センターから講師を迎えて研修を開催しました。



初めてのセンタース（秋田市中央市民サービスセンター）開催、新しい建物はぴっかぴかで気持ちよく開催することができました！

家族介護の例では、一生懸命考えて接していても他からみると虐待かな？と思うことがあったり、様々なやり方を伝えること、ご家族の頑張りを認めてあげることも虐待防止につながると思いました。

私たちの仕事はご利用者の気づきを直に感じることが多いので、その報告がとても大事であり早期発見にも繋がること、等様々な意見交換ができました。

介護ロボット

[2018.3.16]

東京ビッグサイトで開催された「東京 Careweek2018」に行ってきました。



広大な会場では、最新技術を介護現場に活かした製品や、試作品が展示紹介されていました。

「ノーリフティングケア」にも通じますが、腰痛を予防する製品を中心に担当者から使用方法や、導入事例を聞くことができ非常に有意義な視察となりました。空気圧を利用して腰への負担を軽減するマッスルスーツや、人体の動きに合わせて腰への負荷を低減するコルセットなど使い方によっては在宅でも効果が期待されそうな製品も多くありました。

介護ロボットと言うと施設での使用が想定されがちですが、工夫と使い方によっては在宅においても腰痛予防に繋がられます。今後はヘルパーさんの負担を軽減しながらご利用者にとっても安全で最大限の効果を出せる製品をやさしい手でも積極的に導入をしていきたいと考えています。